

大学評価・学位授与機構が作成(2015年8月)した国立大学法人評価における「学系別の教育・研究水準の評価にかかる参考例」

	人文科学系	教育系	社会科学系	工学系	理学系	保健系	農学系
学術面	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果に基づく受賞(学術賞、学会賞など) 学術誌や専門書での書評・紹介、その具体的な記述内容や評者。 新聞、一般雑誌、テレビでの書評・紹介、その具体的な記述内容や評者。 論文の被引用数。 著名な論文、書籍、教科書、辞典等における引用。 国際的に評価の高い学術雑誌への掲載(分野によっては、トムソンロイター社が発表する当該雑誌のインパクトファクターなどの指標を学術雑誌の国際的な評価に関する参考資料として用いることもありうる)。 著名な叢書の一つとしての出版。 海外における書籍の翻訳。 論文集への選定。 招待講演、基調講演、招待論文等。 研究活動のための競争的資金。 新たな共同研究や共同事業の進展。 外部評価の結果。 先端的研究成果に基づく新学術分野の創成(研究センター、学術団体、共同研究組織の設立など)。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果に基づく受賞(学術賞、学会賞など) 学術誌や専門書での書評・紹介、その具体的な記述内容や評者。 新聞、一般雑誌、テレビでの書評・紹介、その具体的な記述内容や評者。 国際的に評価の高い学術雑誌への掲載(分野によっては、トムソンロイター社が発表する当該雑誌のインパクトファクターなどの指標を学術雑誌の国際的な評価に関する参考資料として用いることもありうる)。 著名な叢書の一つとしての出版。 海外における書籍の翻訳。 論文集への選定。 招待講演、基調講演、招待論文等。 新たな共同研究や共同事業の進展。 研究活動のための競争的資金。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果に基づく受賞(学術賞、学会賞、出版賞など)。 国際的に評価の高い学術雑誌への掲載(分野によっては、トムソンロイター社が発表する当該雑誌のインパクトファクターなどの指標を学術雑誌の国際的な評価に関する参考資料として用いることもありうる)。 著名な論文、書籍、教科書等における引用。 論文集への選定。 著名な叢書の一つとしての出版。 海外における書籍の翻訳。 論文集への選定。 招待講演、基調講演、招待論文等。 研究活動のための競争的資金(出版助成など)。 新たな共同研究や共同事業の進展。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果に基づく、学術面での受賞。 新聞、一般雑誌、業界誌、テレビでの研究成果の紹介・批評。 学術誌や専門書での研究成果の紹介・批評。 著名な学術雑誌への掲載(適切な場合には、インパクトファクター)。 などの指標を学術雑誌の国際的な評価に関する参考資料として用いることもありうる)。 被引用数。高被引用論文への選出。 著名な論文や講演、レビュー論文、教科書・辞典等における研究成果の引用・紹介とその扱われ方。 論文のアクセス数やダウンロード数。ならびに、それらの値が高い論文への選出。 掲載雑誌における注目論文や優秀論文としての選出。 著名な学術雑誌における研究動向解説論文・記事などによる解説。 招待講演、基調講演。論文等の執筆依頼。 論文のアクセス数やダウンロード数。ならびに、それらの値が高い論文への選出。 再録雑誌への採択。 著名な学会や採択が厳しい学会における発表の選定。競争性の高い選定(たとえばポストペドライン論文など)。 再録雑誌への採択。 研究成果を生んだ研究活動のための競争的研究費。研究成果に基づいて新たに獲得した競争的研究費。 研究費による事後評価の結果。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果に基づく、学術面での受賞。 著名な学術雑誌への掲載(適切な場合には、インパクトファクター)などの指標を学術雑誌の国際的な評価に関する参考資料として用いることもありうる)。 学術雑誌や専門書での研究成果の紹介。 被引用数や引用した人数。高被引用論文への選出。 著名な論文や講演、レビュー論文、教科書等における研究成果の引用・紹介とその扱われ方。 注目論文や優秀論文としての選出(たとえば掲載雑誌の中での選出や、年間優秀論文等としての選出、生物学でのFaculty of 1000などのレビューに基づく評価)。 著名な学術雑誌における研究動向解説論文・記事などによる解説。 招待講演、基調講演。論文等の執筆依頼。 論文のアクセス数やダウンロード数。ならびに、それらの値が高い論文への選出。 再録雑誌への採択。 著名な学会や採択が厳しい学会における発表の選定。 新聞、一般向け科学雑誌、業界誌、テレビでの研究成果の紹介。 教科書としての活用。 研究成果を生んだ研究活動のための競争的研究費。研究成果に基づいて新たに獲得した競争的研究費。 研究費による事後評価の結果。大学・組織等の外部評価の結果。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果に基づく、学術面での受賞。 著名な学術雑誌への掲載(適切な場合には、インパクトファクター)などの指標を学術雑誌の国際的な評価に関する参考資料として用いることもありうる)。 被引用数。高被引用論文への選出。 著名な論文や講演、レビュー論文、教科書等における研究成果の引用・紹介とその扱われ方。 学術誌や専門書での研究成果の紹介や書評。 大学等における教科書としての活用。 注目論文や優秀論文としての選出(たとえば掲載雑誌の中での選出や、年間優秀論文等としての選出、Faculty of 1000などのレビューに基づく評価)。 著名な学術雑誌における研究動向解説論文・記事などによる解説。 招待講演、基調講演。論文等の執筆依頼。 著名な学会や採択が厳しい学会における発表の選定。 教育研究者の少ない分野における若手人材の育成効果。 新聞、一般雑誌、業界誌、テレビでの研究成果の紹介。 他研究者等への研究試料やデータ、ソフトウェア等の供与や利用の状況。 研究成果を生んだ研究活動のための競争的研究費。研究成果に基づいて新たに獲得した競争的研究費。 研究費による事後評価の結果。大学・組織等の外部評価の結果。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果に基づく、学術面での受賞。 学術雑誌や専門書での研究成果の紹介や書評。 著名な論文や講演、レビュー論文、教科書等における研究成果の引用・紹介とその扱われ方。 注目論文や優秀論文としての選出(たとえば掲載雑誌の中での選出や、年間優秀論文等としての選出、Faculty of 1000などのレビューに基づく評価)。 著名な学術雑誌における研究動向解説論文・記事などによる解説。 招待講演、基調講演。論文等の執筆依頼。 新聞、一般雑誌、業界誌、テレビでの研究成果の紹介。 論文のアクセス数やダウンロード数。ならびに、それらの値が高い論文への選出。 再録雑誌への採択。 著名な学会や採択が厳しい学会における発表の選定。 教育研究者の少ない分野における若手人材の育成効果。 新聞、一般雑誌、業界誌、テレビでの研究成果の紹介。 他研究者等への研究試料やデータ、ソフトウェア等の供与や利用の状況。 研究成果を生んだ研究活動のための競争的研究費。研究成果に基づいて新たに獲得した競争的研究費。 研究費による事後評価の結果。大学・組織等の外部評価の結果。
社会・経済・文化面	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果に基づく受賞(芸術・文化賞、出版賞など)。 新聞、一般雑誌、テレビでの書評・紹介、ならびに、その具体的な記述内容や評者。 書籍の出版部数、教科書としての利用状況、図書館等での所蔵数。 (特に芸術における)公演・発表などでの選定。来場者数。メディアでの評価。 特許、ライセンス、製品化(たとえばマルチメディア語学教材やソフトウェアの製品化など)。 政府のガイドライン等での研究業績の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果に基づく受賞(芸術・文化賞、教育奨励に関する賞、出版賞、スポーツの受賞・記録、デザイン賞など)。 新聞、一般雑誌、テレビでの書評・紹介、ならびに、その具体的な記述内容や評者。 小中高校における教科書の執筆。 書籍の出版部数、教科書としての利用状況、図書館等での所蔵数。 海外における書籍の翻訳。 (特に芸術における)公演・発表などでの選定。来場者数。メディアでの評価。 特許、ライセンス、製品化(たとえばマルチメディア教材、教育用ソフトウェア、スポーツのトレーニング機器や分析機器の製品化など)、ならびに製品等の活用による効果。 研究成果に基づく一般向けの研修会や講習会の実施と参加者数。 科学館・博物館等と連携した教育イベントの企画・実施や、その入場者数や評判。 政府のガイドライン等での研究業績の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果に基づく受賞(出版賞など)。 新聞、一般雑誌、テレビでの書評・紹介。 書籍の出版部数、教科書としての利用状況、図書館等での所蔵数。 研究成果に基づく講習会・研修会の実施、参加者数。 政府の立法やガイドライン策定、政策の助言等における研究業績の活用。 経済社会活動における研究業績の活用。 裁判実務など司法における活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会・経済・文化面を重視した受賞(地方自治体、産業界等からの受賞)。 新聞、一般雑誌、業界誌、テレビでの紹介・批評。 研究成果物の展示会やその来場者数。 国内および国際特許化。ライセンス契約やその収入。 ソフトウェア、データ、装置・研究試料などの開発・公開、その利用状況や利用者側での成果。 研究成果に基づく起業。 国際標準への選定、政府・産業団体等でのロードマップにおける選定。 製品化・実用化、ならびに、それにより企業にもたらされた売上高や期待される市場規模。 書籍の出版と出版部数。 研究成果の教材としての利用状況。 研究成果を生むための企業や政府・公共団体等との共同研究の状況や、その後の共同研究の申し出状況。 社会・経済・文化面への貢献を重視した研究費の獲得。 政策や規制・ガイドライン等への貢献。 政府や地方自治体などにおける研究成果の反映。 公共サービスでの研究成果の活用。 医療における工学分野の研究成果の活用(臨床応用への展開や利用状況など)。 研究成果やそれに基づく製品等の利用者における社会・経済・文化的効果(たとえば、環境面やエネルギー面での効果や課題解決)。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会・経済・文化面を重視した受賞。 新聞、一般雑誌、業界誌、テレビでの紹介。 初中等教育等の教科書における引用。 書籍出版部数。 研究装置・研究試料などの共同利用状況や利用者側での成果。 国内および国際特許化。ライセンス契約やその収入。 製品化・実用化、研究成果に基づく起業。 国内外における政策や規制・ガイドライン等への貢献。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会・経済・文化面を重視した受賞。 新聞、一般雑誌、業界誌、テレビでの紹介。 初中等教育等の教科書における引用。 書籍出版部数や図書館等での所蔵状況。 海外での書籍の翻訳。 研究装置・データ、ソフトウェア等の供与や利用の状況などの企業や公的機関等への供与や利用、ならびに利用者側での成果。 国内および国際特許化。ライセンス契約やその収入。 研究成果に基づく臨床試験の開始。 製品化・実用化。 研究成果の診断・診療への利用。 標準的手法としての活用ならびに医療実践。 研究成果に基づく起業。 企業や公的機関との新たな共同研究の開始。 研究成果のアウトリーチ活動の実施状況。 国内外における政策への貢献。 国内外における規制、ガイドライン・診断基準等への貢献。 国内外における司法への貢献。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会・経済・文化面を重視した受賞。 新聞、一般雑誌、業界誌、テレビでの紹介。 初中等教育等の教科書における引用。 書籍出版部数。 海外での書籍の翻訳 研究装置・研究試料などの共同利用状況や利用者側での成果。 国内および国際特許化。ライセンス契約やその収入。 製品化・実用化、ならびに、農林水産業者等への普及状況や、販売企業にもたらされた売上高や期待される市場規模。 研究成果に基づく起業。 国際標準への選定、政府・産業団体等でのロードマップにおける選定。 国内外における政策や規制・ガイドライン等への貢献。 動植物の診断・診療手法としての活用。
補足事項					<ul style="list-style-type: none"> ●論文の被引用数やインパクトファクターの利用の考え方について 一部の研究分野では、SSの根拠・データとして論文データベースに基づく論文の被引用数や掲載雑誌のインパクトファクターが用いられる。インパクトファクターは各雑誌の掲載論文の平均被引用数に相当するものである。これらの指標は広く用いられているが、分野により論文データベースの収録率が異なることや、インパクトファクターは掲載雑誌の評価を間接的に示す指標であり論文の評価の指標ではないことなど、これらの指標には限界があることに注意が必要である。 一方、研究成果の論文データベースへの収録率が高く、被引用数などの指標が評価において一般的に用いられている分野に限っては、評価者が大学から提出された被引用数等の値の高低を、同じ分野、同じ出版年の論文群の中で正しく解釈できるような参照情報を提供することが、評価者の判断を支援できる可能性がある。たとえば、研究業績水準判定組織の委員からの求めがあれば、大学から提出された研究業績のうちの論文の被引用数と分野内でのその順位(パーセンタイル)や、掲載雑誌のインパクトファクターと分野内での順位の指標を参考として提供することが考えられる。ただし、これらの指標は大学から根拠・データとして被引用数が提出された場合に、それを評価者が解釈することを支援するための参考情報として扱うものであり、被引用数によって研究業績の判断を行うものでは決してない。 		